自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 稲羽西・稲羽東自治会連合会
2. 日 時 平成28年6月1日（水） 19時00分～20時30分
3. 場 所 稲羽コミュニティセンター
4. 出 席 者 自治会長 20名、 市長、 企画総務部長 、 消防長

<内容>

○市長のあいさつ

○連合会長のあいさつ

○行政の説明

- ・しあわせを実感できるまちづくりについて
- ・新庁舎の建設について

○テーマ概要

テーマ①：西部方面消防署南出張所の防火体制の強化

テーマ②：配布資料の軽減と資料の綴じ方

テーマ③：せせらぎ水路にトイレ（小規模で可）を稲羽東小校区に2カ所設置されたい

テーマ④：稲羽地域全体の市街化区域の下水道、都市ガスのインフラ整備の推進

○提言による懇談

テーマ①：西部方面消防署南出張所の防火体制の強化

<前渡西町連合自治会長>

南消防署が平成21年から出張所になり、人員の減少で救急が出動すると消防が出動できなくなっています。今年1月に火災で住民が南出張所に連絡した際に、救急で出動しており、誰もいませんでした。近年前渡地区では火災が度々発生していますが、防火体制が十分ではない。市民の生命・財産を守ることが何より大切ではありませんか。市長は「しあわせを実感できるまちづくり」を推進していますが、この現状では実感できません。安全を守るためにも、予算を確保し、必要なら補正を行うなどして住民の命を守るための措置を早急に実施していただきたい。切なる願いです。

<市長>

当市は、国が示す消防力の指針では5消防署所となりますが、7消防署所を配置しています。南出張所は西部方面消防署に属し、西部方面消防署を核に川島分署、南出張所、尾崎出張所の4消防署所で西部方面の強固な消防体制を確保しています。平成25年に消防本部内に構築した高機能消防指令センターにより、119番通報の発信地を瞬時に特定し、通報から現場到着までの時間短縮が図られており、すべての消防車両の位置を把握し、必要な車両がいち早く現場へ駆けつける体制ができています。

<消防長>

高機能消防指令センターは、119番と同時に場所を特定し出動命令を出します。西部方面で4

署所、市で7署所と、これほど狭い地域に配置されている例は少ないと思います。救急の到着時間も全国平均より非常に速い状況です。出張所は訓練などで不在となる場合もありますが、災害時等には現場に近い車両をリアルタイムに出動させることができます。消防職員の増員にも力を入れており、署所間が近く、リアルタイムで管内にとらわれない出動ができるので、ご安心いただきたい。

〈市長〉

救急車には救急救命士の搭乗率 100%を目指しており、平成27年には97%を達成しています。南出張所でも8名中4名が救急救命士です。

高機能消防指令センターは、動く市民教室でも見ていただけるので、是非、自治会で見学していただきたい。

職員定数も徐々に増やしており、市民の生命・財産を守ることが重点課題と考えています。

〈前渡西町連合自治会長〉

議会答弁のような予定調和の回答で、問題ないとの話ですが、実際に出張所に人員が足りないのは事実ではないでしょうか。このミーティングは、市が宣伝する場でしかないように思えます。提言させ、問題ないとの回答では、何のためのミーティングかと思いますが、市が頑張っていることは理解します。是非、現状を理解いただきたい。

〈市長〉

私も消防団を経験した際に、同じような認識をしており、そういった状況がありましたが、消防が出動していても、救急が出動できる体制を構築しつつ、厳しい部分については職員定数を上げていこうという指示をしています。

〈前渡西町連合自治会長〉

稲羽地区は、人口は少ないが面積は多く、西部方面消防署があっても、岐阜基地を越えて来なければならず、不便であり道も狭い状況です。何かあれば手が付けられないと思います。きちんとした消火体制が確保される安心感が、市長の言う「しあわせを実感できるまちづくり」につながると思います。

〈市長〉

消火体制ということでは、消防団についてもお力添えを頂いています。消防団も団員数が増えています。非常に大切であると認識しており、消防団の拡充により行政との連携が密になります。制度の改善も行い、消防団は現在700名くらいの体制になっていることを報告させていただきます。

テーマ②：配布資料の軽減と資料の綴じ方

〈両内野自治会長〉

提言とは別ですが、側溝清掃に消火栓ホースを使っている地区があるようです。そのことはよいのか。いざ火災が起きたら大丈夫なのか。水で流した土砂はどこへ行くのか。疑問に思います。

市から自治会長に膨大な書類が送られてきます。厚さが30センチくらいになりますが、前年度の資料と比べて内容があまり変わらないように思います。マニュアル化して何年も使えるようにすれば、紙の削減になるので、検討いただけないでしょうか。もう一点、綴じ方について、大抵は左開きですが、広報紙など右開きのものもあり、綴じるのに困ります。左開きに統一できな

いでしょうか。

〈市長〉

毎年同じ内容の書類が多いということで、チューブファイルなどで一元化し差し替える方法は、資源活用の面では有効です。ただ、その場合は見落としに気を付ける必要があり、また、一般的に差し替えに手間がかかり事務負担にもなるため、ご提案の方法は検討が必要です。しかし、前年と同じ内容の冊子であれば、前年の文書を活用してもらうような通知も可能かと思しますので、今回のご意見を基に良いアイデアを出していきたいと思えます。

綴じ方については、一般に横書きは左開き、縦書きは右開きで作成されます。市の関係でも広報紙など一部で右開きがあり、検討させていただきたいが、反対の意見もあるので、より良い方法の検討が必要と思えます。

テーマ③：せせらぎ水路にトイレ（小規模で可）を稲羽東小校区に2箇所設置されたい

〈下切町自治会長〉

羽島用水がパイプ化され、上部にせせらぎ水路が作られています、木も多く散歩に良い所です。しかし、稲羽地区には公園がないためトイレがありません。大きなトイレでなくてもよいので、前渡不動の東と西の一つずつ設置できませんか。希望は水洗トイレです。せせらぎ水路上で場所がなければ、神社があるので、可能なら町内で相談したいので、検討願いたい。

〈市長〉

結論から言えば非常に難しいと思えます。せせらぎ水路は、地下 1.7m 付近に 2m 径のパイプラインがあり、掘削等が困難です。清掃管理や漏電などの問題もありますし、工事費もかなりかかります。前渡公園などの既存施設のトイレを活用いただきたいと思います。

神社敷地については、町内のご意見をまとめても、神社の所有物的な要素も含まれてしまうことから民地介入ができないという観点にかえり難しいと思えます。せせらぎ水路はウォーキングを楽しまれる方も多いとのことなので、今後も適正な管理に努めます。

テーマ④：稲羽地域全体の市街化区域の下水道、都市ガスのインフラ整備の推進

〈大野町自治会長〉

稲羽地域は、下水道や都市ガスなどのインフラ整備はどの程度進んでいるのでしょうか。今後の計画はどうか。近未来の3～5年くらいで、どの程度対応がなされるのでしょうか。

〈市長〉

都市ガスは、行政ではなく民間事業であり、市も整備を望んでいます。事業者から報告はもらっていますので、後日ご説明したいと思います。

公共下水道は、昭和 57 年に始まり、平成 3 年には前渡西町など稲羽地区の一部が供用されています。市街化区域を重点に進めてきましたが、平成 27 年の事業計画の拡大において、市街化調整区域の一部にも事業計画区域を拡大しています。

今回の事業計画の拡大により、整備予定区域になりました大野町の一部における下水道整備については、今年度は測量及び実施設計を行っており、秋には住民の皆さんに対し概要説明会を行う予定です。平成 29 年度以降、工事説明会の後に順次、工事着手予定ですが、受益者負担や国費の関係で若干ずれ込む場合もあります。

方針として、公共下水道は長い年月と費用がかかる事業ですが、市街化調整区域は民家が少なく費用が割高となる場合もあるため、整備区域の決定に当たっては、地域特性や費用対効果などから見合った汚水処理の手法を検討する必要があります。5年ごとに見直しを行いながら慎重に区域を選定し下水道整備を進めてまいります。

また、稲羽地区の下水道整備予定ですが、上戸町は設計済みであり、今後3年間で整備を行い、大野町の認可区域のうち、北側は今年度に設計を行い、平成29年度から整備を行う予定です。上中屋町は設計済みと一部は平成32年度といった状況です。ただし、国の補助金等の状況により遅れる場合もあります。

〈大佐野町自治会長〉

稲羽西地区は平成36年度以降と聞いていますが、少しでも早くお願いしたい。

○連合会長からまとめのことば

○市長からまとめのことば